

兵庫 県会  
保険医協会

# 宮屋 支部ニュース

No. 328  
2016・2・5

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部  
西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内  
連絡先 兵庫県保険医協会  
電話〇七八 (三九三) 一八〇三

## 院内感染対策研修会

### 感染防御の実際を学び充実した1日に

#### ―実践的な学びも好評

西宮・芦屋支部は、6月20日、12月19日の二回にわたり「BBPコース」血液に触れることのリスク、触れないための方法、触れた時の対処法」のテーマで院内感染対策研修会を開催。1回目は広川内科クリニック、2回目は西宮渡辺心臓・血管センター会議室を会場に、それぞれ16人、11人が参加した。講師はアメリカ心臓協会(AHA)インストラクター、看護師の登山寿氏、小牧佳世氏が務めた。

司会を務めた西宮市・あしだこども診療所の芦田乃介先生の感想を紹介する。

#### 6月20日研究会

### BBPコースの必要性を感じた梅雨の曇り

「BBPコース」と言っても、何のことか分かる方はほとんどおられないであろう。当然である。このコースは過去にほとんど日本で開催されたことがない。まして日本語教材を使つてのコース開催は、日本全国で今回が3回目とのレアなコースなのだ。と思わせぶりに書いてきたが、「BBPコース(Bloodborne Pathogens Course)」を訳すると「血液を經由して伝播する病原体コース」となる。これはアメリカ心臓協会が開いている講習で、内容は「血液を介して感染する病原体をいかに防ぐか、そして方が一感染のリスクにさらされた場合どう行動するか」を学ぶコースである。

医療機関に勤めている限り、血液を介して感染するリスクは高い。これは、医師、看護師に限らない。例えば、待合で急に鼻血を出す子どもがいるかもしれない。あるいは、採血の後止血のために貼った絆創膏の横から、



実際に手袋をはめて実技練習にのぞんだ(6月20日)

血が滲み出すかもしれない。このような時、最初に対処するのは事務職員であることが多いのではないだろうか。そんな場合、どのように行動すべきかを知らなければ、その職員がなんらかの疾病に感染することだって十分ありうる。このコースでは、感染防御の基本的な知識を講義と実技で学んでいくことを目標としている。

今回の参加者は全部で16名、西宮、芦屋はもちろんのこと、遠くは奈良県からこのコースの噂を聞いて受講した看護師もいた。最初は堅苦しかった雰囲気もコースが進むにつれ和やかになり、実技練習ではあちこちで笑いも生まれ、受講者同士がお互いの手技を評価するようになった。そして講習の最後には実践的な質問がいくつも飛び出し、あつという間の1時間半だった。「知っているようで知っていない感染防御の実際」を学ぶ機会は意外と少ないものだ。

この講習はそれを十分カバーし、またそこからいろいろと発展していく可能性を秘めている。BBPコースが広まることで地域全体の医療レベルの向上につながる事を確信しながら、私は会場を後にしたのであった。

#### 12月19日研究会

### 第2回BBPコースを終えて

近來まれに見る寒波が到来し、それに伴ってインフルエンザの患者さんが急増していきます。その状況が私にBBPコースのことを思い出させるのです。これは、血液を介して感染する病原体から自分をどう守るかのコースです。医療機関で従事している限り、一般市民の方々に比べるといろいろな病気に感染す



実践的な練習が行われた(12月19日)

るリスクは明らかに高くなります。そのリスクを軽減させるために何をなすべきかを学ぶためにこのコースは考えられました。インストラクターは2名(前回と同じく、登山寿子さん、小牧佳世さん)。どちらもこのコース開催数では他を圧倒する実績を持つたインストラクターです。今回は西宮市の広川内科クリニックをお借りしての開催でした。その時は医療現場で開催する事でリアリティが出るのではないかと考えての会場設定でした。今回は渡辺心臓・血管センターの別棟にある会議室です。あえて会議室にしたのは、コースの一般化が図れるかもしれないとの考えです。受講してくださったのは全部で11名、受講された方の職種は看護師、薬剤師、保育所のスタッフ、それに医師です。そうなんですよね、このコースが対象としている職種は医師や看護師だけではなく、病原体を持つている人と接触する機会のある人すべてになります。

例えばHIVキャリアの患者さんが調剤薬局さんに来られることだってあるはずで、そこで具合が悪くなって吐血する可能性も十分あります。その場合、その血液で処理の仕方を間違えると、その患者さんに対応した薬剤師さんが感染してしまいます。保育所のスタッフさんもそうですよ。保育所でケガをした子どもが膝から血を出している、そしてその子どもがB型肝炎の母子感染者であることもないとは言えません。その対処法を知らないと周りに感染を広げてしまいます。だからこのコースは多くの人に聞いてもらいたいし、またそれに合うようなコースの作りになっています。今回はそのあたりにも十分留意して、当日のインストラクターがコースを進めておられました。内容をあまり細かく書くことネットばらしになってしまいますのであえて伏せておきますが、受講された皆さんからはとてもいい評価をいただきました。ただ単に講義を聴くだけのスタイルではなく、途中実技が加わったり簡単なクイズが入ったりするので最後まで飽きることがありません。事実予定していた2時間があつという間に過ぎてしまい、予定の時間を少々超過してしまつたくらいです。

今回のイベントを担当していただいた方々との話し合いの結果、今後も定期的にこのコースを開催していくことになりました。コース開催の様式はいろいろあると思います。その点については保険医協会会員の皆様の意見を伺いながら、臨機応変に対応していくつもりです。うまく日程が合えば、特定のクリニックのスタッフを対象にした小規模なコースも面白いかもしれません。最後になりましたが、当日会場を提供してくださった西宮渡辺心臓血管センター様、そして会場にお越しいただいた皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

# プライマリケア研究会

## 分かりやすい解説で得るもの多数

12月12日、協会会議室で、「内分泌代謝疾患治療のエッセンス〜クリニックで必ず遭遇する common diseases 7 症例」をテーマにプライマリケア研究会を開催。西宮市・林医院の林功先生が講師を務め、医師・薬剤師など43人が参加した。

司会を務めた西宮市・中島クリニックの中島敏雄先生の感想文を掲載する。



研究会では活発な質疑応答がなされた

貧血、肝機能、腎機能、血糖など採血一般をチェックするも特に異常なし。「ストレスでしよう」、「運動不足でしよう」と數医者の判断を下してしまいう前に、念のため甲状腺ホルモンをチェックすることがあります。そして、念のためが的中して、FT4 高値・TSH 低値の結果、また逆にFT4 低値・TSH 高値の結果が帰ってくることもあります。専門施設に紹介するか、ある程度検査をすすめ加療するか、どうか判断に苦慮する場面です。

プライマリケア研究会に参加させていただき、この場面で病態をどう解釈して、どこまで検査して治療をするか、もしくは専門施設にコンサルトするべきなのか、明確に頭の中で整理することができました。

疾患病態が多岐にわたったり、その分類も複雑なものとなる甲状腺疾患を、亢進、低下毎に分かりやすく解説していただきました。

甲状腺機能亢進としては

- ① バセドウ病
- ② 無痛性甲状腺炎
- ③ 亜急性甲状腺炎
- ④ 甲状腺機能低下症としては
  - ① 橋本病
  - ② 術後甲状腺機能低下症
  - ③ ヨード過剰摂取
  - ④ 薬剤 (アミオダロン)

# 近年開業「交流カフェ

## 経験交流で自院の未熟さを再確認

10月31日、協会会議室で、「近年開業」交流カフェを開催し、8人が参加した。

西宮市・ユニコの森村上こどもクリニックの村上博先生とともに講師を務めた西宮市・林医院の林功先生の感想文を掲載する。



講師を務めた林先生 (右) と村上先生 (左)

近年開業カフェに参加いたしました。多くの開業医の諸先輩方にアドバイスをいただき貴重な経験となったため、報告させていただきます。

総論としては、個別相談からは始まり、保険医療機関としての公正な運営方法を学びました。診療報酬請求に関して勤務医時代は全く興味がなかったため、開業当初戸惑う先生も多いのではないのでしょうか。

僕もその一人でした。細かいことになりませんが介護関連文書、医療の診断書や各種申請書などの取り扱いに困るものの、誰に相談していいか途方に暮れていました。

また診療内容に間違いがないと思われる検査や処方再審査を求められた時の不条理、不合理は、多くの新規開業の先生が感じられたのではないのでしょうか。

この企画を通して、経験豊富な先生と相談することで、保険医療機関としての自院の未熟さを感じることができました。この機会を大切にして公正な運営をしていけるよう努力していきたいと思えます。

日常診療で注意する必要がある「コモン」な疾患と、国家試験や教科書的には有名でも発生頻度が極めて低い、あまり鑑別疾患にあげる必要のない疾患の線引きを解説していただいたのも非常に得るものがありました。

今まで何となく敬遠してしまうことが多かった内分泌疾患を身近に感じることができた研究会でした。

# 支部忘年会

## 一年の取り組みを振り返り

2015年12月29日、「木曾路」西宮店で、毎年恒例の会員忘年会を開催し、メディアカルイングリッシュの講師を務める Robert Conway 氏、弁護士の高橋万貴子氏も含め16人が参加した。

西宮市・法貴皮膚科の法貴憲支部長の開会挨拶の後、芦屋市・幸原小児科・内科医院の幸原久先生が乾杯の発声を行い、参加者は料理を囲みながら交流を深めた。

また、今年も支部活動を振り返るスライドを上映。西宮市・広川内科クリニックの広川恵一先生、西宮市・岩下内科クリニックの岩下敬正先生の司会で、一年の支部の取り組みについて映像で振り返った。



また、今年も支部活動を振り返るスライドを上映。西宮市・広川内科クリニックの広川恵一先生、西宮市・岩下内科クリニックの岩下敬正先生の司会で、一年の支部の取り組みについて映像で振り返った。

# 世話人会だより

西宮・芦屋支部は1月25日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。5人全員が参加した。

### 【報告】

- ① 支部忘年会 (12・29)
- ② 英語で診療 Medical English #45 (1・15)

### 【予定・企画】

- ① 保険請求事務講習会 (西宮会場) (1・30〜31)
  - ② 健康と医療を語る会 (健康カフェ) (2・20)
  - ③ 健康と医療について語り合う会 (3・18)
  - ④ 第5回ファイアサイド・ディスカッション (4・23)
  - ⑤ 第33回漢方研究会 (4・23)
  - ⑥ リスクマネジメント研究会 (5・21)
- 【協同行事】
- ① 地域医療を考える懇談会 (移動理事会) (2・27〜28)

\*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。